

## 令和4年度第2回福生市環境審議会の書面開催の結果報告

### 1 意見書提出期間

令和5年2月1日～(2月17日)3月14日

### 2 提出状況

提出者数10名(委員数10名)

### 3 議事に関する意見等

#### (1) 環境に関する市民アンケート 集計結果について

「寄せられた御意見等」

##### 【上村委員】

資料1の1ページにある調査対象(18歳以上の福生市民1,400人)と、資料3の本文の同標記に差異(年齢と抽出方法に関する記載の有無)があり、統一されるべきと考えるがどうか。

前回(令和元年度)は、20歳以上の方に対してアンケートを実施いたしましたが、今回は成人年齢引き下げにあわせて18歳以上の方に実施いたしました。今回お送りした資料3が、誤って確定前のデータをお送りしてしまいました。誠に申し訳ありません。  
また、対象者は無作為抽出しておりますので、結果報告書の方にもその旨記載いたします。

##### 【古屋委員】

結果について意見はないが、結果を受けて今後どのような取組を実践していくのかを確認したい。

集計結果は、現状で市民が感じている環境施策の進捗状況になりますので、今後、環境基本計画市民会議における検討結果とあわせて、庁内関係部署との意見交換等を行い、次期計画の目標設定及びに目標達成に向けた必要な施策の立案等につなげていきます。

##### 【山下委員】

資料1の3ページ「航空機による騒音への対策」についての不満の割合が回答者の75%以上を占めている。不満の解消は難しいと理解しているが、国に対して要望等が必要と思われる。

御指摘のとおり、根本的な解決は難しい状況にありますが、アンケート結果を基地担当の部署にも共有し、今後の対策の参考にいたします。

### 【小倉会長】

分析結果はあくまで結果である。資料1の3ページ「航空機による騒音への対策」への不満が多いのは、解決のための具体的な対策が必要な証拠であり、4ページ「桜の開花が早まっている」と感じる方が増えているのは地球温暖化やヒートアイランド現象を身近に感じている事例であると感じた。

アンケート結果を基地担当の部署にも共有し、今後の対策の参考にいたします。また、結果を踏まえて、今後、環境基本計画市民会議で「気候変動」をテーマに議論等を行うなど、地球温暖化対策の必要性について、広く興味関心を持ってもらうような取組について検討いたします。

### 【千葉委員】

アンケート結果に基づき、環境基本計画市民会議でよくアイデア出しをして、福生の環境、世界の環境の改善を市民に働きかけながら、強力に進めていただきたい。

審議会委員から（応援の）御意見をいただいた旨、環境基本計画市民会議のメンバーに伝達いたします。

### 【島瀬委員】

資料1の5ページ「河原植生の再生（絶滅危惧種「カワラノギク」など）」や「樹林地における自然観察会などの開催」、「湧水地下水の保全」の認知度が低いことについては、広報等、市民が情報に触れる機会がどこにあるのか、理由が分かれば対策も可能になると思われるため、分析が必要と感じた。

14 ページ「カワラノギク（絶滅危惧種）の保全活動などの自然保護活動」の認知度が上がってこないことについては、今後、知っている方がどのような媒体で認知されたかなどの情報を集めることで、対策を検討してみてもどうか。

今回の結果を踏まえて、追加でアンケート調査を行う予算はありませんが、環境基本計画市民会議や各活動へ参加される方へのヒアリングなど、さまざまな機会を活用して状況の把握に努めます。

## (2) 環境基本計画市民会議の運用状況等について

《寄せられた御意見等》

### 【小倉会長】

課題についてグループに分かれ整理しながら、まとめていくプロセスが大切である。御論を整理・集約し、一定の結論に導くファシリテーターの役割が重要と考える。

今回の計画改定に係る支援委託業務の受託事業者には、前回、前々回と同様の市民会議を運営し、市民提案をまとめた担当者が所属しており、本市民会議の運営も行っております。

いただいた御意見を受託事業者へ伝達するとともに、今までの実績を活かし、円滑かつ有益な会議運営に努めます。

### 【千葉委員】

各方面の環境課題への取組をよく議論されているが、地球温暖化がエネルギー問題やごみの減量・処理問題、生物多様性の問題へも強く影響し、原因となっている事への認識を深め、今後取り得る対策が効果を上げられるよう、環境政策係との連携で会議を進めて欲しい。

また、特に地球環境の問題に力を入れて取り組んで欲しい。

いただいた御意見を環境基本計画市民会議メンバーへ伝達するとともに、行政（環境政策係）としても、広くまちなかに環境の取組が伝播して効果が上げられるよう、受託事業者の知見も活かして取り組みます。

また、今後、環境基本計画市民会議で「気候変動」をテーマに議論等を行うなど、地球環境について取り組んでいきます。

### 【島瀬委員】

(1)の議題であったアンケートの集計結果で見られた（認知度のような）課題については、環境基本計画市民会議にも共有しているようだが、会議の場から対策等のアイデアが出てくることを希望する。

環境基本計画市民会議では、取扱うテーマごとの議論の中で、市民に情報が届かないことを課題として認識し、関心を高める手法などについての意見や提案がされております。

いただいた御意見を改めて会議の場で共有し、今後も重要な課題のひとつとして議論を深め、受託事業者によるファシリテーション等を通じて、効果的な取組等が抽出できるよう、取り組んでいきます。